

要望書（回答）

1 市商連への財政支援について

新型コロナウイルス感染症も5類に引き下げられ、人々の生活は徐々に平常時に戻りつつあります。感染拡大からこれまでのご支援に対し感謝申し上げます。連合会としては、この3年間の経験を経て“地域コミュニティの担い手”として商店街の果たす役割の重要性に鑑み、昨年度14年ぶりに復活した『全市連合大売出し』を今後も継続して開催していきたいため、一般事業補助金を要望致します。

【回答】（産業経済部商業振興課 担当）

「苫小牧市商店街の活性化に関する条例」では、商店街の活性化に関する基本理念を定め、商店会、連合会、経済団体、市など各主体の役割を明らかにし、互いの協力の下で、商店街の地域コミュニティの担い手としての取組みを後押ししており、市もこの条例に基づき、商店街の経済活性化へ繋がる支援策の実施に努めているところです。

貴連合会につきましては、商店街の活性化を行っていくうえで、商業振興における重要なパートナーとして連携が必要な団体であると認識しており、従来から財政支援を行っております。

また、コロナ禍においては、これまで実施していた様々な事業が中止になるなど商店街活動にも大きな影響があったものと思われまます。

今後につきましても、同条例に規定された市の責務を果たす中での財政支援を継続するとともに、商店街加入会員数増加や事業収入による財政基盤強化に繋がる貴連合会の活動、『全市連合大売出し』などの取組などを後押ししてまいりたいと考えております。

2 駅前中心街の再生について

旧サンプラザビルが閉鎖してから既に9年余りが経過しておりますが、未だに解決に至っておりません。千歳市にはラピダスが進出し近隣市町村にも波及効果が期待される中、苫小牧市の顔である駅周辺再生が急務となっております。更に2026年度には待望の市民ホール完成に伴い、駅から市民ホールまでの賑わい創出の核として旧サンプラザビルの解決が大きく影響すると考えられますので、この問題の早期解決を要望します。

【回答】（総合政策部未来創造戦略室 担当）

旧サンプラザビルについては、閉鎖後9年が経過し、景観や安全性の観点から早期解決を求める声が次第に大きくなっている状況であり、本市としても、駅前を苦小牧の顔として取り戻したいと考えております。

令和3年3月に、本市の成長戦略の方向性を示す「苦小牧都市再生コンセプトプラン」を策定し、その中で、駅前エリアは「交流・ウォークブルの拠点機能」として再生を図ることとしており、駅前再整備の考え方や方向性を示すものとして令和5年3月に「駅周辺ビジョン」を策定したところであります。

駅前中心街の再生に向けては、旧サンプラザビルのみを権利集約後に、民間開発で解体と再整備を行う考え方から、駅前エリアを民間開発と行政機能を組み合わせて再整備を行う方向性に転換しており、旧サンプラザビルの問題を解決させることが必要不可欠です。現在、権利集約を進めておりますが、残り1権利者からの承諾が得られず、現時点において解決には至っておりませんが、引き続き、権利集約に向けて協議を継続し早期解決に向けて取組んでまいります。

3 地域商店街の要望について

- (1) シンボルストリートはバリアフリー化の整備路線として建設されました。しかし、30年以上経過し歩道の劣化及び歩道タイルブロックの損傷が著しい箇所があります。歩行者が安全に通行するために支障のない歩道の整備並びにタイルブロックの改修を要望したところ、『苦小牧市都市再生コンセプトプラン』と連携した再整備との回答をいただきましたが、現状のままが続くと近い将来に市民が転び怪我をしてもおかしくない状況になっていますので再度要望します。

（駅前通商店街、駅通中心商店街）

【回答】（都市建設部道路建設課、維持課 担当）

シンボルストリート（駅前本通線）は、「苦小牧市バリアフリー基本構想」を実現するため、平成29年3月に策定した「苦小牧市バリアフリー特定事業計画」において、バリアフリー化整備路線として位置付けております。

またその後、令和3年3月に「苦小牧市都市再生コンセプトプラン」が策定されたことから、再整備にあたっては、これら関連施策と歩調を合わせ検討を進める必要があると考えております。

再整備までの間は、これまで行ってきた徒歩によるパトロールを強化するとともに、危険性や緊急性に応じ適宜補修を行い、歩道の安全かつ円滑な通行の確保に努めてま

いますが、道路の異常などでお気づきの場合は、維持課までご連絡くださいますようお願いいたします。

(2) ときわ町と澄川町の間を通る双葉3条通り（バイパス）は地域の中心道路であり地域住民や子ども達が多く利用する通りですが、歩道部分が暗すぎるため防犯面でも商店街の活気という側面からも決して良い状況とは言えません。ここの歩道部分に街路灯（防犯灯）を設置していただくよう苫小牧市から北海道に要請していただくことを要望します。

（ときわ・澄川商店会）

【回答】（市民生活部市民生活課 担当）

御要望の双葉三条通りに関する歩道への街路灯の設置につきましては、道路管理者の胆振総合振興局室蘭建設管理部苫小牧出張所に対し、要望内容をお伝えしてまいります。

(2) 苫小牧市内の各地商店街は、今後の社会的役割を変化していかなければならない時代になったと考えます。これまでの商工振興だけでなく、自らが地域の潜在的な可能性を観光資源として開発していかなければ『加速化する少子高齢化・人口流出』に対応出来ません。しかしながら、観光資源となり得る規模の大きなイベントには相応の予算が掛かります。そこで『苫小牧市イベント・環境整備等助成金事業』の項目(3)(4)(8)(9)に関して、上限額を引き上げていただきたく要望します。

（勇払商工振興会）

【回答】（産業経済部商業振興課 担当）

イベント・環境整備等助成金につきましては、商店街のにぎわい創出のため、商店街等が実施するイベントなどに要する経費の一部を助成している事業です。

コロナ禍においては、イベントなどの開催を制限されたため、当該助成金の活用が難しい状況でしたが、令和5年5月の「5類感染症」への移行に伴い、かつてのにぎわいを取り戻すため、各商店街において様々なイベントが開催されるようになり、活用が増えてきております。

今後につきましては、今回いただいた要望を踏まえ各事業の予算配分などについて、相談させていただきながら、地域商業の活性化に資する取組となるよう進めてまいりたいと考えております。